

## 【7月15日の場面についての解説】

### （闇市の店主から話を聞いたときのメモ）】

**Q 1:** 闇市の店主や子供たちから、八木さんに関する話を聞いて、その会話をメモする場面がありましたが、手帳に書いたメモはほとんど映りませんでした。

帰りの車中では、「納得いく取材ができたみたいや じゃあ」と東海林編集長に言われていたので、どのようにメモをしていたのかが、気になっています。

手の動きから、分かった部分がありましたでしょうか。

**A 1:** 今回は、ほんの少しだけでした。

★闇市の店主が、

「最初は怪しくて、危なっかしそうなやつだったんだ」

と話し始めたときの、のぶさんのメモですが、



訳を付けると、



この言葉を書かれていたことは、手の動きから分かりました。

さらに、そのあと、

「そこらじゅうの子供を集め出してよ」

という発言のときには、



訳を付けると、



このような言葉を書いている部分が映っていました。

📌 **速記文字の解説**としては、昨日と同じで、

・ 上の速記文字：「怪しい」の「イ」は、基本文字の「イ」よりも「大円」を使ったほうがなめらかになるので、このように書いてあります。

・ 下の速記文字：「よく使う言葉は、頭文字だけ書いて、あとは伸ばす」という方法で、「コト」は、「コ」を伸ばして、「コ——」と考え、これを速記文字で書いて、「コト + モ」と書いてあります。

このように、日本語には、「コト」「モノ」や「ツイテ」「オイテ」というのは、よく出て来ますので、最初から、頭文字だけ書くということに決めておくと便利ということになります

★本日の解説はこれだけしかありませんが、何度も申しておりますように、漢字やかな文字を急いで書くのはなかなか大変です。

今回は、「集める」の「**集**」という字を書いてみました。手は何回動くと思われませんか。



見えない線を含めると、全部で**23本の線**を書いたことになるかと思います。

普段何気なく書いている漢字は、

**非常に微妙な角度で、複雑な直線や曲線を何本も書いている**  
ということを、再々度、ご認識いただければ幸いです。

それでは、もしよろしければ、「“蛇の足”（その6）」をお読みいただければ嬉しく存じます。

## 👑 【“蛇の足” コーナー・その6】 👑

### 創作“感字”、“2倍速漢字”のお話の続き

「漢字」は、意味が瞬時に理解できますから、非常に便利ですが、それを書くのが大変です。

現在はかなり簡単になってきていますが、古い字体は非常に難しかったので、覚えるための工夫もいろいろされていました。

その代表例の一つは「恋」の旧字体かと思います。

戀

【覚え方】

いと（糸）し、（いと）糸しと、言う、心

つまり、この漢字では「糸」が左右にあることを、「いとしい」の「愛（いとしい）」という言葉を手うまく使って覚えて、非常に記憶しやすくしたということで、これを考えられた方はどなたかご存じでしょうか。

同じように、「桜」の旧字体は、

櫻

【覚え方】

にかい（2貝）の女が気（木）にかかる

これも、なかなかの秀作で、発案者はどなたでしょうか。

それはともかく、

「漢字の画数が多いことで、損をした」

というお話も聞いたことがあります。

ある学校で、試験のときに、答案用紙に自分の名前を書いてから始めることになったそうですが、例えば、次のお2人の場合はいかがでしょうか。

齋藤瑠璃雄さん      一      一二さん

このお2人が自分の名前を書く時間は相当違いますから、「一」さんのほうがずっと早く問題の解答に取りかかれたということになります。

（実際は、開始の前に、自分の名前は書いておくことになると思いますが、）

なお、この「一」という苗字については、読み方が非常にたくさんあるということ、**「6月26日の解説・その③」**で既にご紹介しておりますが、再掲させていただきます。

**【漢字】の「一」だけの苗字の方の読み方の例**

**イチ、カズ、ハジメ、イチモジ、イチモンジ、ヒトモジ、ヒトモンジ、デカタ**（出る方という意味？）、**ニノマエ**（2の前）

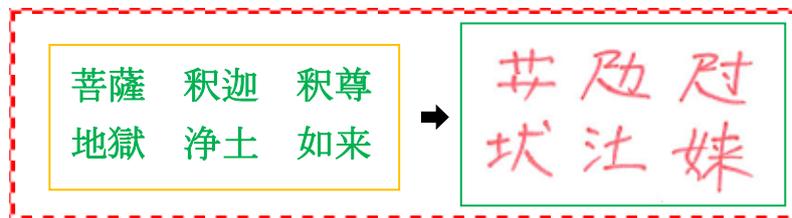
このようにいろいろ読めるという方がいらっしゃるようですので、上のお名前は、このうちの一つの苗字で、名前は「かずじ」とでも読むのでしょうか。

それはともかく、「齋藤瑠璃雄」様は毎回書くのが大変ということですが、読み方は瞬時に分かって、悩むことは全くないというすばらしい漢字です。

★前置きが長くなってしまいましたが、

**“2倍速以上漢字”の実例は仏教界で古くからあった**

ということで、少しご紹介いたします。

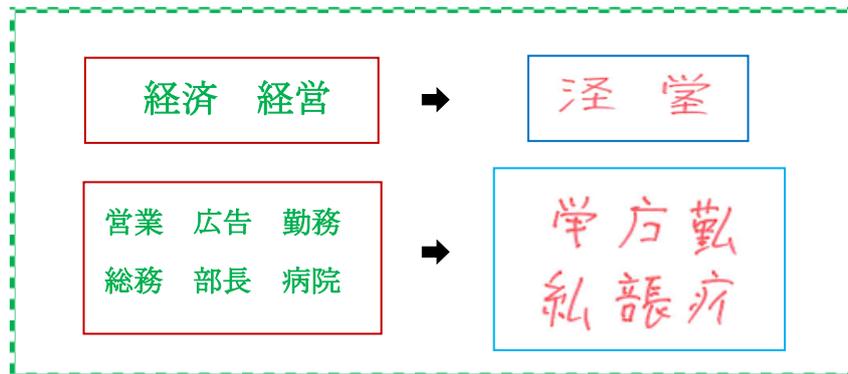


このような略字がたくさん書いてある「略字・略名集」には、かなり長い言葉も簡単に表現している略字が載っていますので、お経を写したりするとき、何度も出てくる言葉を省略する方法の一つとして、このような**“2倍速以上漢字”**を活用されてきたのだと思われます。

★上のような場合は、2つの漢字を1つにした形になっていますので、このような方法をどんどん応用されてはいかがでしょうか。

例えば、

「経済」という漢字の「**経**」を書くのが面倒ということで、右側だけ書いているという方がおられます。なかなか結構な書き方だと思いますので、これを応用すると、次のようになりますし、その他、いろいろ考えられます。



前回は申しましたように、よく出てくる漢字は、できるだけ簡単に書けるようにしておいて、周りの方々もそれで理解できるということになれば、

「秘密」の意味で、「**秘**」

などのように、“全国区”になっていく略字が増加していくのではないかと思っております。

(7月15日の放映分に関する解説と、

“蛇の足・その6”のコーナー 中根康雄記)